

経営理念・経営計画

JAグループは、利潤の追求を第一義とする株式会社ではなく、人々が連帯し助け合う「相互扶助」の精神のもと、農家をはじめとする地域の組合員が協同して事業や活動をすることで、一人ひとりの活動では得られない充実した経済的・文化的利益を得ることを第一の目的とする“協同組合”組織です。

当会は、JAグループの一員として、県内各地域にあるJAの信用事業における県域本部機能を担うとともに、自らも農業・地域金融機関として金融サービスを提供する事業を行っています。

■ 経営理念

1. 当会は、「農と食」を基軸とした金融仲介機能を十全発揮し、県内農業の発展と環境・地域社会の課題解決に貢献します。
 2. 当会は、県下JAの持続可能な経営基盤の確立および地域における存在価値の向上をJAバンクの県域本部として力強く先導します。
 3. 当会は、創意工夫と変革をもっていかなる環境変化にも適応し、健全かつ適切な事業運営に徹します。
 4. 当会は、職員一人ひとりの挑戦と成長を促し、能力を十分に発揮できる働きがいのある職場をつくれます。
-

■ 中期経営計画

当会は、次の事項を基本方針および重点取組事項とする「中期経営計画（令和7年度～令和9年度）」を策定し、その実現・実践に取り組んでいます。

【基本方針】

- 食農分野での金融仲介機能のさらなる発揮
- JAの顧客基盤および経営基盤強化に向けた指導支援の高度化
- 持続可能な本会経営の実現
- 事業戦略を支える経営基盤の強化

【重点取組事項】

●食農分野での金融仲介機能のさらなる発揮

農業金融機関として、農業者の成長や地域農業の発展に向け、地域農業と食農関連企業との懸け橋となる役割を発揮するとともに、事業者の経営課題解決に向けた付加価値の高い支援・サービスの提供を通じ、これまで以上の金融仲介機能の発揮に取り組めます。

●JAの顧客基盤および経営基盤強化に向けた指導支援の高度化

専門性の高い相談機能を発揮し、次代につながるJA顧客基盤の形成および持続可能な経営基盤の確立に資する指導支援に取り組めます。

●持続可能な本会経営の実現

県下JAへの安定還元をはじめ収益・機能両面での還元機能を十全に果たすべく、持続可能な収益性と将来にわたる経営健全性の確保に向けた内部管理態勢の強化等に取り組めます。

●事業戦略を支える経営基盤の強化

事業戦略の実効性を高めるため、専門性を蓄積・発揮し得る体制の構築や会内業務のさらなる効率化と人的資本投資に取り組めます。

■ JAバンク三重中期戦略

JAバンク三重は、次の事項を基本方針および重点実践事項とする「JAバンク三重中期戦略（令和7年度～令和9年度）」を策定し、その実現・実践に取り組んでいます。

【基本方針】

- 食農バリューチェーンの拡充と出向く活動を通じた金融仲介機能の発揮により、メイン強化先とのつながりを強化する。
- 組合員・利用者のライフデザインや多様なニーズにしっかりと応える提案・相談活動の実践と事業運営態勢の強化を通じ、“次代につながる顧客基盤の形成”に取り組む。

【重点実践事項】

- メイン強化先との“つながり強化”に向けた「出向く活動の実践」と「金融仲介機能の発揮」
- 食農バリューチェーンの拡充に向けた取組徹底
- 大口高齢者の資産流出防止に向けた取組強化
- 次世代層の囲い込みに向けた取組強化